

NSG

GROUP

第158期定時株主総会

日本板硝子株式会社

株主様へのお願い

- ・携帯電話はマナーモードにしていただき、通話はお控えください。
- ・カメラやビデオ、各種機器による会場内での撮影、録画、録音等につきましてお断りしております。

何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



株主総会資料ダウンロードのご案内

【電子提供措置に関するご案内】

本株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトにて「第158期 定時株主総会招集ご通知」及び「第158期 定時株主総会その他の電子提供措置事項（交付書面省略事項）」として掲載しておりますので、以下の当社ウェブサイトへアクセスの上、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当社ウェブサイト

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/investors/ir-library/shareholders-meeting>



電子提供措置事項は、上記ウェブサイトのほか、東京証券取引所（東証）のウェブサイトにも掲載しておりますので、以下の東証ウェブサイトへアクセスいただき、銘柄名（日本板硝子）又はコード（5202）を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。

東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



【招集ご通知に関するその他の事項】

・電子提供措置事項のうち、以下の事項につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、前記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトに掲載しており、書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面には記載していません。

- ① 事業報告の「新株予約権等に関する事項」「業務の適正を確保するための体制」
- ② 連結計算書類の「連結持分変動計算書」「連結注記表」
- ③ 計算書類の「株主資本等変動計算書」「個別注記表」

なお、監査委員会及び会計監査人が監査した連結計算書類及び計算書類は、当社ウェブサイトに掲載している「第158期 定時株主総会招集ご通知」に記載の各書類のほか、上記②及び③の事項です。また、監査委員会が監査した事業報告は、当社ウェブサイトに掲載している「第158期 定時株主総会招集ご通知」に記載の書類と上記①の事項です。

・電子提供措置事項に修正すべき事項が生じた場合は、前記インターネット上の当社ウェブサイト及び東証ウェブサイトにてその旨、修正前の事項及び修正後の事項を掲載させていただきます。

・本株主総会の議決権の行使結果は、臨時報告書により、インターネット上でEDINET*に掲載されるとともに、当社ウェブサイトでも開示いたします。これらをもって決議ご通知に代えさせていただきますので、ご了承ください。

*注 EDINETウェブサイト(<https://disclosure2.edinet-fsa.go.jp/>)

株主総会の模様は、インターネットによるライブ配信でもご覧いただけます。

（ご視聴方法は、7頁「インターネットによる株主総会ライブ配信及び事前質問受付のご案内」をご参照ください。）

当社ウェブサイト

<https://www.nsg.co.jp/ja-jp/investors/ir-library/shareholders-meeting>



東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>



本総会の資料は、スマートフォンやタブレット等からもご覧いただけます。

第158期定時株主総会

日本板硝子株式会社

監查報告

報告事項

1.事業報告

2.連結計算書類

3.計算書類

対処すべき課題

2030 Vision

Shift the Phase フェーズを変える

2024年5月発表

2030 Vision

Shift the Phase

フェーズを変える

NSGグループ

NSGグループが目指す姿

2030年のゴール

企業としてのフェーズを変え、
持続可能な社会の発展に不可欠な存在を目指す

- 「ガラスとその周辺技術」に注力
- 社会の持続可能な発展に貢献する高付加価値領域での収益拡大

コミットメント

- 私たちは、すべてのステークホルダーのために、そしてステークホルダーとともに、持続可能な社会を実現する価値を創造する
- 私たちは、顧客のソリューションにおいて重要な役割を果たすガラスとその関連技術・サービスを開発し、提供する
- 私たちは、顧客の潜在的なニーズを深く理解し、有形無形の資産を活用して顧客に適したソリューションを提供する
- 私たちは、グローバルで多様性に富み、ガラスに情熱を持ち、才能あふれるチームを誇りとし、人材への投資を続けていく

財務目標

		2024年 3月期	2027年 3月期
収益性 (P/L)	営業利益	359億円	640億円
	営業利益率 (ROS)	4.3%	7%
▼			
キャッシュ創出 (C/F)	フリーキャッシュフロー	153億円	270億円
▼			
財務基盤の安定化 (B/S)	有利子負債	5,065億円	4,420億円
	自己資本比率	12.3%	15%
資本・投資効率	ROE	9.6%	20%

【2030年3月期】 営業利益率(ROS)10%以上を目指す

戦略方針

4つの「D」

**Business
Development**

- 新製品および事業開発の強化を図る

Decarbonization

- 社会の脱炭素化への貢献を目指す

**Digital
Transformation**

- デジタルをフル活用した付加価値の高いオペレーションを構築する

Diverse Talent

- フェーズシフトをもたらす真に多様で包括的なチームを実現する

収益性の強化、キャッシュ創出力の強化により有利子負債の抜本的な削減を推進し、自己資本の増強を図る

当社グループが対処すべき課題

Business **D**evelopment

- **社会の変化に適応し、顧客と共に新たなソリューション・技術を開発することで高い付加価値を創造**
- **ガラスおよび周辺領域において、R&D投資の継続と事業開発人材の育成を推進し、事業創出力を強化**

当社グループが対処すべき課題

建築用ガラス事業

- ガラスコーティング技術開発/設備へ集中的な投資
- 自社製品自体の脱炭素化

- 持続可能性に貢献する建築用ガラスのリーディング・サプライヤーを目指す



当社グループが対処すべき課題

自動車用ガラス事業

- ADAS・EVの拡大に対応するためのケイパビリティ強化
- アフターマーケット事業の強化
- 徹底的な収益性改善

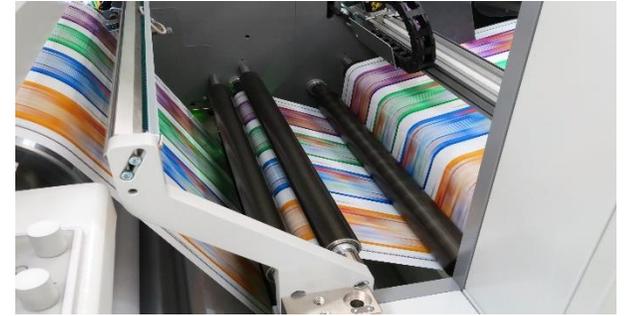
- 安全で環境に優しい自動車作りに向けて必要とされる製品製造技術の開発を加速
- 重要な戦略的グローバルサプライヤーかつ持続可能な収益事業への変革



当社グループが対処すべき課題

高機能ガラス事業

- 隣接市場での事業拡大
- 新技術の商業化
- 技術・事業シーズの創造/取捨選択



- 収益成長を目指す
- 顧客製品の進化に貢献する独自の素材開発と事業化を通じて、新たな収益の柱を作る

当社グループが対処すべき課題

Decarbonization(脱炭素化)

- 2050年のカーボン・ニュートラルを目指し、持続可能な社会発展への貢献の重要アジェンダとしてサプライチェーン全体を通じた脱炭素化
 - 2030年の削減目標(2018年比)
 - ・スコープ1および2 : 30%削減
 - ・スコープ3 : 30%削減
 - TCFD提言への賛同表明

当社グループが対処すべき課題

Decarbonization(脱炭素化)

【当期】

- **製品による環境貢献の拡大**
 - 世界最高水準のLowカーボンガラス製品を欧州で発売開始
- **新たな技術開発**
 - 板ガラス業界で欧州初のカーボンキャプチャー実証実験を開始

当社グループが対処すべき課題

Decarbonization(脱炭素化)

【新中期経営計画】

- ガラス生産単位当たりのCO2排出削減量を**毎年3%に引き上げ**
 - 再生可能エネルギー由来の電力比率を**65%(2027年3月期まで)**とする目標を設定
- 代替燃料の開発、再生可能エネルギーの導入、バリューチェーンにおけるCO2削減活動を強化
- 脱炭素化に向けた活動と当社製品による脱炭素化への貢献を推進

当社グループが対処すべき課題

Digital Transformation

- 本中期経営計画期間での取り組みを第2のPMI(ポスト・マージャー・インテグレーション)と捉え、
- デジタルをフル活用して、オペレーションを刷新し、付加価値創出能力を底上げ
- データとプロセスの標準化を徹底して情報統合度を高め、グローバルマネジメントの質と速度を飛躍

当社グループが対処すべき課題

Diverse Talent

- 戦略の要である強い人材と組織を築くため、
明確な人事戦略をもとに投資
- 当社が、真に情熱と意思のある従業員に
プロフェッショナルな成長の機会を提供することが
できる会社であるという魅力をグローバルに提示

当社グループが対処すべき課題

Diverse Talent

- 4つの「F」を、組織内でのコミュニケーション文化として浸透
 - Flatな組織
 - Frankな対話
 - Fastな意思決定
 - 職場でのFun

当社グループが対処すべき課題

Diverse Talent

- 従業員意識調査「Your Voice」を実施
 - ・ 改善対策を実施し、企業風土改革を推進
- 「Diversity, Equity & Inclusion(DE&I)」
 - ・ 従業員の強みと育成に焦点をあて、エンゲージメントを向上



当社グループが対処すべき課題

サステナブルなサプライチェーンへの取り組み

- 「責任ある調達」を重要課題と位置づけ、目標設定や進捗管理を実施
 - ・「サプライヤー行動規範」の浸透率向上
 - ・サプライヤーのサステナビリティ・パフォーマンスに対する評価向上

当社グループが対処すべき課題

サステナブルなサプライチェーンへの取り組み

- 「サステナブル・サプライチェーン憲章」を策定
 - サプライチェーン上における8つの優先課題を特定

温室効果ガス
排出の削減

環境保護

労働と人権の
保護

廃棄物の削減

水資源の保全

透明性の向上

DE&Iの推進

地域社会への
貢献

NSGグループが目指す姿

2030年のゴール

企業としてのフェーズを変え、
持続可能な社会の発展に不可欠な存在を目指す

第158期定時株主総会

日本板硝子株式会社

決議事項

議案 取締役6名選任の件

招集ご通知 8ページから 15ページ

議案 取締役6名選任の件

候補者番号	氏名	地位・属性等		
1	石野 博	再任	社外	独立
2	細沼 宗浩	再任	代表執行役 社長兼CEO	
3	ヨーク・ラウパッハ・スミヤ (Jörg Raupach Sumiya)	再任	社外	独立
4	皆川 邦仁	再任	社外	独立
5	浅妻 慎司	再任	社外	独立
6	桜井 恵理子	再任	社外	独立

議案 取締役6名選任の件



再任

社外

独立

取締役候補者

石野 博

議案 取締役6名選任の件



再任

代表執行役
社長兼CEO

取締役候補者

細沼 宗浩

議案 取締役6名選任の件



再任

社外

独立

取締役候補者

ヨーク・ラウパツハ・スミヤ

議案 取締役6名選任の件



再任

社外

独立

取締役候補者

皆川 邦仁

議案 取締役6名選任の件



再任

社外

独立

取締役候補者

浅妻 慎司

議案 取締役6名選任の件



再任

社外

独立

取締役候補者

桜井 恵理子

議案 取締役6名選任の件

候補者番号	氏名	地位・属性等		
1	石野 博	再任	社外	独立
2	細沼 宗浩	再任	代表執行役 社長兼CEO	
3	ヨーク・ラウパッハ・スミヤ (Jörg Raupach Sumiya)	再任	社外	独立
4	皆川 邦仁	再任	社外	独立
5	浅妻 慎司	再任	社外	独立
6	桜井 恵理子	再任	社外	独立

質疑応答

事前にいただきましたご質問

- 当期の配当および今後の復配について
- 株価下落に対する受け止めについて
- 前中期経営計画「RP24」でのコスト構造改革について

**ご質問の際は、議長の指名を受けた後、
お手許の受付票番号をおっしゃってから
ご質問くださいますようお願いいたします。**

ご質問終了後は、お席にお戻りください。

決議事項

議案 取締役6名選任の件

招集ご通知 8ページから 15ページ

議案 取締役6名選任の件

候補者番号	氏名	地位・属性等		
1	石野 博	再任	社外	独立
2	細沼 宗浩	再任	代表執行役 社長兼CEO	
3	ヨーク・ラウパッハ・スミヤ (Jörg Raupach Sumiya)	再任	社外	独立
4	皆川 邦仁	再任	社外	独立
5	浅妻 慎司	再任	社外	独立
6	桜井 恵理子	再任	社外	独立

第158期定時株主総会

日本板硝子株式会社

NSG

GROUP